

# 4~5月

## New自然農法・陰暦栽培管理表

2015年

新暦	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	5/1	2	3
陰暦	3/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
潮汐	新●月	大	大	中	中	中	小	上●弦	小	長	若	中	中	中	大
防除	殺菌系—————							殺虫系-----							
追肥	ミネラル-----							チツソ系-----							
作業 葉面散布	□追肥は発酵液肥を薄く数回に分けて施用□ MG MG B/CA B/CA							播種 播種 B/CA B/CA							
新暦	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
陰暦	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	
潮汐	満○月	大	大	中	中	中	小	下●弦	小	長	若	中	中	中	
防除	殺虫系-----							殺菌系—————							
追肥	ミネラル-----							チツソ系-----							
作業 葉面散布	□追肥は発酵液肥を薄く数回に分けて施用□ B/CA B/CA							定植 定植 B/CA B/CA							

- ① 新月前後の防除は主に殺菌系を、満月前後の防除は主に殺虫系を散布する。新月前のチツソ系追肥は控えめに与える。
- ② 大潮前の中潮から大潮後の中潮までは養水分の要求度が高まる時期なので養分不足、かん水に注意する。
- ③ 小潮から大潮に向かう時は細胞の分裂、分化が促進し、大潮から小潮に向かう時は細胞の肥大、伸長が促進される。
- ④ 自然のバイオリズムと作物の生育リズムがずれると不健全生育となり病虫害被害も増えるので、Bバイタルで修正する。
- ⑤ 小潮期の追肥、かん水、芽欠き、葉欠き、剪定は病気を誘発するので避けること。